

忍ニテ之ヲ容認シ先次第ナリ

本春、従上ハ六月一日ヨリ一日、外業減率最低限度ヲ計百割トシ、内業計割

ヲ支給シ百割ヲ増ス母、五十五身、増増ヲ支給スルニセリ

然レ共如斯實金ノ支拂ノ時ハ益々令社ノ損失ノ重キ途ハ以テ共倒ノ

際不市ノ途着セシメテ償ノ人ノ回復前途ノ一口、外業最低ヲ計百五十割トシ

三回三十身ヲ支給百貫ヲ増ス母、五十五身、増増ノ共ノルニトシ、改メテ之ノ

ナリ。

蓋シ職工ニ於テ一日七百五十貫ノ外業ハ左程困難ナルモノ、非スト云フニ在ルコ

内面ノ事情ヲ探知スルニ會社ハ現下、頗ル経受困難ノ状態ニ陥レルモノ也

ケレ、休業ヲ發表スルトキハ大工場ノ体面上外用ヲ憚リ、資金値下ノ藉口ニシテ

若シ職工側ニ於テハ、監理休業ヲナス、於テハ之ヲ機會ノ工場閉鎖ヲ断行

セリハ、底意アルモノ也

(九月二十九日 情報課)

吾輩労働者六一九日誌

大分十二年十月十九日

兵庫新聞社 平塚 義

内務大臣子爵 後 益 新 中

社 公 債 局 七 及 以 田 宏 股

有 限 公 司 協 懐 合 名 子 股

大 阪 神 戶 事 業 中 川 望 股

編 田 製 靴 工 場 閉 鎖 之 件 之 経 緯

第 一 章 概 論

以下神戶市 益慶町 五五 製靴工場 (資本金 一万圓) 子爵 一高 個人経営ニシテ同下編之六次